

新型インフルエンザとは?

【質問】最近、報道で新型インフルエンザが世界的に大流行し、大変なことになるのではないか、というようなことを聞きます。従来のインフルエンザとの相違点や、新型インフルエンザの予防法や治療法を教えてください。

(主婦)

医療制度



ほとんどの人に免疫なし

【答え】インフルエンザウイルスは人だけでなく、動物にも感染し、通常は人から人へといった同種の間で感染が広がります。しかしウイルスの性質が変わる(変異する)ことによって、人に感染しなかったウイルスが人へ感染するようになり、さらに人から人へ感染するようにもなります。この変異したウイルスを新

型インフルエンザウイルスといえます。現在アジアを中心として、基本的には人に感染しない高病原性鳥インフルエンザが流行しています。新型インフルエンザウイルスは、この高病原性鳥インフルエンザウイルスが変異して出現すると考えられており、近い将来に新型インフルエンザが発生することが危険

万人、死亡者数は約六十四万人と推定されています。

治療薬は、通常のインフルエンザに使われているタミフルなどの抗ウイルス薬が、新型インフル

(きぐ) されているので、ほとんどの人は新型ウイルスに対する免疫を持っていないために、世界的な大流行となる可能性が高いのです。

世界のどこかで新型インフルエンザが起これば、日本への侵入は避けられないと考えられています。日本で新型インフルエンザが流行すると、患者数は最大で二千五百

エンザにも有効であると考えられています。このため国と都道府県は流行に備えて二千万人分のタミフルを備蓄する予定です。また、現在使われているワクチンは新型インフルエンザには効きません。新型インフルエンザ用のワクチンの供用は、新しいウイルスが出現してから六カ月くらいかかるようです。

予防法は通常型と同じ

新型インフルエンザの予防法は通常のインフルエンザと同じです。帰宅後のうがいや手洗い、マスクの着用、流行地への渡航の自粛が大切です。特に感染の機会を少なくするために、人込みや繁華街への外出を控えることが重要です。

流行を防ぐには、県民への広報と県民の協力が何よりも大切です。長崎県は新型インフルエンザ行動計画をすでに作っていますが、まだ十分なものではありません。医師会としても県と協力し、より実効性のある計画にしていける必要があると考えています。

(県医師会)